

目標	指標	データソース	目標値	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
「スポーツ」と「市民」と「宗像市」と共に創る 笑顔輝くおなかのまち								
基本方針1 スポーツで市民の心と身体の健康づくり								
施策目標① 自分の健康状態に適したスポーツに取り組める(◆)								
スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	▽日頃の成果の発表の場となるウォーキング大会を開催する。 ▽健康課、子ども家庭センター、国保医療課など各課との連携を図り、各地区への出張教室等を計画する。				
	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%					
	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%					
施策目標② 市民が地区ごとに自宅から歩けるウォーキングコースを知っている(◆)								
ウォーキングコースを知っている者の増加	ウォーキングコースを知っている者の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	推進地区で20.0%	▽コミュニティ運営協議会や健康課スポーツ推進委員等と連携して推進地区や推進方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標③ 健康意識が高まり、新たにスポーツを始める人が増えている								
(再掲) スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	▽エイコーウェルや健康課等と連携して、各地区で行われている教室や健康無関心層をターゲットに、インボディ等の機器で体の状態の見える化、その体の状態の解説、望ましい改善方法の共有を行う。				
	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%					
	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%					
スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数の増加	スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数	実績	100件/年	▽エイコーウェルや健康課等と連携して、各地区で行われている教室や健康無関心層をターゲットに、インボディ等の機器で体の状態の見える化、その体の状態の解説、望ましい改善方法の共有を行う。				
基本方針2 誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくり								
施策目標① 誰もが気軽にスポーツに取り組める(★◆)								
(再掲) スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	▽スポーツ体験事業の展開についてスポーツ協会等と連携して方針(実施計画)等を決定する。 ▽スポーツ協会等と連携して、市内のスポーツ教室の整理並びに情報の蓄積及び更新方法(実施計画)等を決定する。				
	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%					
	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%					
スポーツを行っていない者の減少	「運動やスポーツを行っていない者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	35.0%	▽スポーツ体験事業の展開についてスポーツ協会等と連携して方針(実施計画)等を決定する。 ▽スポーツ協会等と連携して、市内のスポーツ教室の整理並びに情報の蓄積及び更新方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標② スポーツの体験→練習→仲間づくりができる(★)								
体験できる教室の設置	体験できる教室の数	実績	5種目	▽スポーツ協会等と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
スキルアップできる教室の設置	スキルアップできる教室の数	実績	5種目	▽グローバルアリーナやスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
共通の目的を持った者が集って競い合う教室の設置	共通の目的を持った者が集って競い合う教室の数	実績	5種目	▽グローバルアリーナやスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
団体加入率の増加	団体加入率	5年後の文化スポーツ課アンケート	16.0%	▽スポーツ協会等と連携して各種スポーツの体験の場を提供するとともに、その後のフォローアップとして興味を持った方を各単位協会や民間スポーツ施設等へ繋ぐ。				
施策目標③ スポーツを継続する人のために、その目標となる成果発表の場がある(★◆)								
成果発表の場の設置	成果発表ができる種目の数	実績	19種目	▽グローバルアリーナやスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標④ 市民のニーズに合ったプログラムを提供している(★◆)								
アンケートでニーズの多いプログラムの提供	プログラムの種目の数	実績	3種目	▽グローバルアリーナやスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標⑤ 障がいの有無にかかわらずスポーツに親しむことができる								
スポーツや文化芸術活動等への参加率の増加	スポーツや文化芸術活動等の参加率	実績	26.0%	▽エイコーウェルやグローバルアリーナ、スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標⑥ スポーツの継続年数にかかわらず、スポーツを通じて楽しさや喜びを実感し続けることができる								
スキルや目的に合った教室の設置	スキル等に合わせた選ぶことができる教室の数	実績	4教室	▽グローバルアリーナやスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
上記教室の指導者の育成や確保	上記教室に携わる指導者の人数	実績	4人	▽グローバルアリーナやスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標⑦ スポーツを始めるきっかけとしてeスポーツの普及について研究している								
-	-	-	-	▽エイコーウェル等と連携して研究方法(実施計画)等を決定する。				

目標	指標	データソース	目標値	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
基本方針3 子どもがスポーツを楽しめる機会の創出								
施策目標① 幼児期から様々なスポーツを体験できる(★◆)								
幼児対象の体験教室の増加	体験できる種目の数	実績	2種目	▽エイコーウェルやグローバルアリーナ、スポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。 ▽子ども家庭センター等関係各課と連携し実施計画等を決定する。				
スポーツが好きな小学5年生の増加	「運動が好きな小学5年生」の割合	学校アンケート(全国体カテスト)	66.0%	▽グローバルアリーナやスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標② すべての中学生が取り組みたいスポーツを行うことができる(◆)								
中学生対象の様々な教室の設置	種目の数	実績	10種目	▽中学生の活動状況などを調査し、ニーズにあったクラブが設置できるよう、また部活動地域移行後の受け皿の一つとなるクラブの設置をスポーツ協会やグローバルアリーナなど関係機関と連携し計画する。				
中学生対象の学校以外の場での教室の設置	種目の数	実績	3種目	▽クライミングやアーバンスポーツ等の学校で行われないスポーツを中心に、南の郷クラブや民間事業者と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
スポーツが好きな中学2年生の増加	「運動が好きな中学2年生」の割合	学校アンケート(全国体カテスト)	50.0%	▽小学生や幼い時期からスポーツ、運動を身近に感じてもらい、スポーツを継続してもらえよう体験会などを行う。 ▽部活動地域移行後の受け皿の一つとなるクラブの設置をスポーツ協会やグローバルアリーナなど関係機関と連携し計画する。				
施策目標③ 子どもがトップスポーツ選手と交流できる(◆)								
トップスポーツ選手との交流事業の実施	交流事業の回数	実績	2回/年	▽グローバルアリーナにて開催される国際大会やプリンセス駅伝、トップチームの合宿の情報発信を行うとともに、市民との交流事業を行い、スポーツを身近に感じることができ取り組みを実施する。				
基本方針4 スポーツ活動を支える基盤体制の整備								
施策目標① それぞれの取り組みにおいて適した指導者がいる(★)								
(再掲)上記教室の指導者の育成や確保	上記教室に携わる指導者の人数	実績	4人	▽グローバルアリーナやスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標② 相談できる環境が整っており、市民がそれを知っている(★◆)								
(再掲)スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数の増加	スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数	実績	100件/年	▽エイコーウェルや健康課等と連携して、各地区で行われている教室や健康無関心層をターゲットに各地区へ出向き、インボディ等の機器で体の状態の見える化、その体の状態の解説、望ましい改善方法の共有を行う。 ▽イベントにて出張インボディ測定などを実施し、地域住民の健康をサポートする。				
上記の支援体制の市民の認知	知っている市民の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	アカドーム 76.0% スポーツ協会 30.0% 相談支援体制 30.0%	▽アウトリーチによる相談支援等の際にスポーツを通じた健康づくりに関する相談支援体制の周知を行う。 ▽スポーツサイトの在り方を含め、スポーツに関する様々な支援体制の情報発信についてスポーツ協会等と連携して方法(実施計画)等を決定する。				
施策目標③ 市民のスポーツできる場を確保している								
種目数の維持	種目数	実績	19種目	▽各単位協会において充実した活動が行えるよう、補助金を交付するなどスポーツ協会を介して支援を行う。 ▽市民スポーツ活動の推進についてスポーツ協会と連携して推進種目や推進方法(実施計画)等を決定する。				
面数の維持	面数	実績	屋内施設 バスケット 40面 温水プール 25m×7コース 屋外施設 野球場5面 テニスコート 11面 弓道場	▽市民が市内スポーツ施設(市民体育館、勤労者体育センター、玄海B&G海洋センター、有料公園、運動広場、弓道場)を安全安心に利用できるよう関係団体と連携して施設の適切な維持管理を行う。				
稼働率の維持	稼働率	実績	屋内施設93.0% 屋外施設50.0%	▽市民が市内スポーツ施設(市民体育館、勤労者体育センター、玄海B&G海洋センター、有料公園、運動広場、弓道場)を快適に利用できるよう関係団体と連携して施設の適切な維持管理を行う。 ▽また、施設を可能な限り多くの方に利用してもらえよう指定管理者と連携して、施設の予約管理を適切かつ円滑に行う。				
施策目標④ 地域スポーツの課題が明らかになり、スポーツ推進委員と連携してそれらに取り組んでいる								
スポーツ推進委員の支援体制の維持	支援回数	実績	20回/年	▽各研修会の参加や地域の体カテストの指導、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整並びに市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を円滑に行えるよう、スポーツ推進委員事業に対し支援する。				
スポーツ推進委員との連携による地域課題解決事業の推進	委員の延べ参加人数	実績	484人/年	▽上記のとおり				

目標	指標	データソース	目標値	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
施策目標⑤ スポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等を着実に実行している								
-	-	-	-	▽アセットマネジメント推進計画や長寿命化計画等のスポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等を着実に実行する。				
施策目標⑥ 市民が施設にアクセスしやすくなる対策を研究している								
-	-	-	-	▽スポーツ施設に関する方針（令和7年度決定予定）に基づき、施設にアクセスしやすくなる対策についてどのような研究を行うか決定する。				
施策目標⑦ 世代や地域を超えて交流できる場がある								
南の郷クラブの会員数の増加	南の郷クラブの会員数	実績	154人	▽南の郷クラブの定例会議やイベント等の運営に関わり、十分な活動が行われるよう必要な支援を行う。また、市広報紙やホームページを活用して、多くの市民に南の郷クラブを知ってもらえるよう広報を行う。				
施策目標⑧ 市民が市内でスポーツ観戦（トップスポーツ）をしている								
市内観戦者数の増加	「市内で観戦したことがある者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	10.0%	▽市内で行われるスポーツ大会について情報収集を行い、HPやSNS、広報紙、チラシなどを活用し情報発信を行う。				
施策目標⑨ スポーツ協会に「★」を推進する基盤体制が構築できるよう体制の整備に努める								
-	-	-	-	▽市民体育館、勤労者体育センター、玄海B&G海洋センター、弓道場、運動広場の管理運営、19校の学校開放施設の運営、有料公園施設の利用の管理等、多くの公共施設の管理事業を行っているスポーツ協会の体制について、将来、スポーツ協会がこれらの管理事業とスポーツの普及推進を目的とした事業を区分して取り組めるよう、本市のスポーツ推進の全体の体制について庁内で協議を行う。				
基本方針5 「伝わる」効果的な情報の発信								
施策目標① 市民が次のサービスを知っている ①施設で何ができるか ②施設の使い方やルール ③スポーツ用具の貸出制度（★）								
認知度の増加	認知度	5年後の文化スポーツ課アンケート	①60.0% ②60.0% ③15.0%	▽市ホームページや情報発信（蓄積）サイトの見直し等について、方法（実施計画）等を決定する。				
施策目標② 毎年、市広報紙でスポーツの体験→教室（練習）→仲間づくり→成果発表の場（→観戦（見学））を情報発信している								
情報発信の定着	市広報紙への掲載号数	実績	1回/年	▽スポーツの体験や教室、仲間づくり、成果発表、スポーツ観戦の場をホームページやSNSだけでなく、広報紙も活用しながら周知し、より多くの人に情報を届ける。				
施策目標③ 「◆」の情報を発信している								
情報発信の定着	市広報紙への掲載号数	実績	1回/年	▽スポーツに関する情報発信の強化月間を設け、スポーツ施策に関する情報を市広報紙で発信する。				
施策目標④ 情報発信（蓄積）サイトが充実している								
サイト認知度の増加	認知度	5年後の文化スポーツ課アンケート	25.0%	▽欲しい情報に簡単にたどり着きやすく、継続的に活用しやすいサイトとなるよう情報発信（蓄積）サイトの基盤の整理（サイトの場所やデザイン等）を行う。				
施策目標⑤ 発信した情報が市民のもとへ確実に届いている								
（再掲）サイト認知度の増加	認知度	5年後の文化スポーツ課アンケート	25.0%	▽上記のとおり				
施策目標⑥ 宗像市のイベントが市外の人にも興味を持ってもらえている								
同一イベントの市外視聴率の増加	市外視聴率（プリンセス駅伝）	実績	6.3%	▽プリンセス駅伝の市外視聴率を上げるため、テレビ・SNSを活用した視聴者プレゼントの実施やチラシ等での大会PRを行う。				
基本方針6 “おなかつた”の地域資源を活用したスポーツ観光等の推進								
施策目標① 毎年、子どもたちに海に親しむ機会を提供している（◆）								
維持	提供件数	実績	25コマ/年	▽5月から9月までの期間で、小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業を実施する。				
施策目標② プリンセス駅伝が継続されるよう支援を行っている（◆）								
持続	実績	実績	5年継続	▽プリンセス駅伝が継続されるよう引き続き市民や日の里、東郷、玄海地区の地域、スポーツ推進委員、スポーツ協会、福岡教育大、日赤看護大、東海大福岡高、宗像高、玄海中、交通安全協会、トヨタ自動車九州と連携して大会運営（主催者）のサポートを行う。				
施策目標③ ホストタウン交流による子どもの異文化交流ができてきている（◆）								
持続	交流件数	実績	5件/年	▽グローバルアリーナで開催されるブルガリアフェスティバルにおいて来日するカザンラック民族舞踊団やサニックスCup国際新体操団体選手権で来日するブルガリア・レフスキー新体操クラブとのホストタウン交流等、市民交流を進める。				

	目標	指標	データソース	目標値	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	施策目標④ 世代ごとのラグビーを通じた交流やラグビーの試合、観戦の提供が行われるように支援を行っている（◆）								
	持続	来場者数	実績	4,000人/日（休日）	▽一般財団法人サニックススポーツ振興財団と連携して、子どもから大人まで世代ごとのラグビーの交流事業を実施する。 ▽市民にワールドラグビーユースの試合の案内を行う。				
	施策目標⑤ 市内の民間スポーツ施設等のスポーツ資源を有効に活用している								
	活用数の増加	活用数	実績	6回/年	▽セカンドスクールやむなかたキッズセブン等の事業をグローバルアリーナ等の施設を有効活用し効果的に実施する。				